

第五回「地域脱炭素化に向けた大学における環境人材育成の検討会」 委員と有識者の顔ぶれ

日時：2025年10月10日(金)10時～12時

場所：IGES 東京サステイナビリティフォーラム(東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル4F)・オンライン併用

主な論点：環境人材育成に向けた提案の各大学での実施可能性、それを後押しするための施策等

〔検討会 委員〕

- ◆ (座長) 岡山大学 理事(デジタルトランスフォーメーション・グリーントランスフォーメーション担当)・上席副学長 阿部 匡伸氏
- ◆ (一社)地域政策デザインオフィス 代表理事/千葉商科大学 人間社会学部 教授 田中 信一郎氏
- ◆ 法政大学 社会学部 教授/信州大学 グリーン社会協創機構 特任教授 茅野 恒秀氏
- ◆ 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授 永野 聡氏

〔有識者〕

- ◆ 龍谷大学 副学長、政策学部 政策学科 教授 深尾 昌峰氏
1974年生まれ。専門は非営利組織論・ソーシャルファイナンス論。
2010年4月、龍谷大学 法学部准教授に着任。2011年4月からは政策学部准教授、2018年4月より現在の政策学部 教授に就任し、2022年4月からは龍谷大学 副学長を兼任。

委員等の活動としてはこれまでに、経済財政諮問会議専門委員や京都府参与などを歴任し、現在、東近江市参与、京都府産業教育審議会、GSG 国内諮問委員会の委員や一般財団法人ネイチャープレナー・ジャパンの代表理事などをつとめている。

研究分野は非営利組織論を基盤に、政策学や地域政策を背景とする幅広いテーマを対象とする。研究テーマは、地域社会の課題解決をめざすソーシャルビジネスや社会的起業、市民活動を通じた共助社会の制度設計など。近年は特に、地域金融と社会的投資の仕組みづくりであるローカルファイナンスや、持続可能な地域社会の構築に資するNPO・市民活動のマネジメントを探究。[\(経歴詳細\)](#)

- ◆ 立教大学 環境学部開設準備室 / 社会デザイン研究科 教授 二ノ宮 リム さち氏
1998～2000年、青年海外協力隊に参加、熱帯雨林を擁するマレーシア・ボルネオ島に派遣され、サバ州森林局環境教育官として持続可能な森林管理をテーマにした教育活動にくわわる。
帰国後、企業勤務を経て、オーストラリア・グリフィス大学大学院に入学。地域における持続可能な開発のための教育(ESD)の実現をテーマに研究を始め、環境教育修士を取得。

国内に戻り、「ESDの10年」推進会議(ESD-J)などESD推進に関わるNPOに勤めた後、大学教育に活動の場を移す。並行して、東京農工大学大学院で大学院教育におけるESDを研究し、博士(農学)取得。

2009年9月より東京農工大学環境リーダー育成センター特任助教(コーディネーター)、2013年5月より同特任准教授(チーフ・コーディネーター)、2014年3月より同国際センター特任准教授(世界展開力強化事業コーディネーター)として、大学院・大学レベルの国際ESDプログラム開発・運営に従事。2016年4月より東海大学現代教養センター准教授、2023年4月より東海大学学生チューデントアチーブメントセンター教授として、持続可能な社会を担うシティズンシップ育成を主眼とした全学必修プログラム開発・運営を担当。

2024年4月より立教大学環境学部開設準備室 / 社会デザイン研究科 教授に着任。

現在の主な研究課題は、持続可能な社会を拓く対話の場づくり、現代的公害運動を通じたシティズンシップ育成など。[\(経歴詳細\)](#)